

号外

令和6年度  
第12号

Tobu通信

東部教育局  
東教発 R6.11.20ICTの活用  
協働的な学び

## 学校を越えてつながる交流学习 ～ICTを活用した遠隔授業による協働的な学び～

令和6年10月2日(水)に、エキスパート教員である倉田小学校の谷本教諭及び若桜学園小学校の川口教諭による公開授業が行われました。どちらの学校も小規模校であり、エキスパート教員による公開授業で初めての試みとして、オンラインを活用した交流学习が公開されました。また、令和6年10月29日(火)には、東郷小学校と明治小学校で道徳のオンラインでの合同授業が実施されました。今号外では、ICTを活用した遠隔授業による学校を越えた協働的な学びの様子を紹介します。

若桜町立若桜学園小学校

オンラインで  
交流学习

鳥取市立倉田小学校

国語「きいて、きいて、きいてみよう」

【本時目標】

役割を交代しながらインタビューする活動を通して、目的や意図を考えて、話の内容を捉えたり報告するためにまとめたりすることができる。

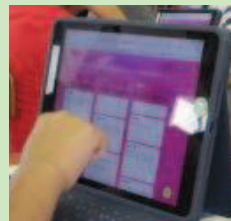
【この日までの交流学习の流れ】

- ①クラスルームやMeetを使用して自己紹介
- ②グループごとの話し合いやゲーム等
- ③交流学习：道徳「銀のしよく台」

学習したことの共有はPadletで行い、授業後には、友達の見解に対してコメントを返す(休憩時間や家庭学習等で)



グループごとにMeetでインタビューをし、Canvaで活動用のメモをする。



### 児童の変容

- 相手に伝えたい、相手のことを知りたいという主体的な姿が見られた。
- 今までにない自分を出す姿が見られた。
- 相手を意識した言葉を使用することができた。
- 交流を重ねることで機器の使用や学習の仕方にも上手になってきた。

### 交流学习に対する児童の感想より

- ・最初は緊張した。うまく話せるか、伝わるか心配だった。
- ・違う学校の友達と一緒に学習するのは楽しい。
- ・自分とは違う意見を知ることができる。
- ・算数の学習でも交流したい。



次のページもご覧ください



鳥取市立明治小学校

オンラインで  
交流学習

鳥取市立東郷小学校

道徳「銀のしょく台」許すことについて考えよう  
【各学年がオンラインでの交流学習を3回以上行っている。】

一緒に道徳の  
学習をするぞ！



東郷小学校のみんなからどんな意見が出るのだろう

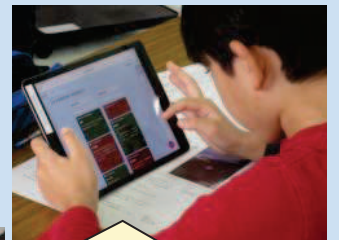


### 児童と教師の変容

- 初めはとても緊張したけれど、交流を重ねていくうちに普段通りの自分が出せるようになってきた。
- 小学生の時に校区が同じ他の学校の友達と触れ合うことができるので、中学校に行っても安心。
- 児童は、ありきたりの考えだけではなく、よく書き、物事をよく考えるようになった。
- 他校の児童の言動が刺激になり、児童に「伝えたい」という気持ちが出てきた。
- これまで、事前に細案を書き2校の担任同士で念入りな打ち合わせをしてからオンライン学習に臨んでいた。オンラインでの打合せに慣れてきたので、負担のない持続可能な形を模索している。



画面に明治小学校の皆さんが映っており、電子黒板にはクラスルームで教材が共有されているため、あたかも同じ教室内で一緒に学習しているよ



学習したことをPadletで共有することで他者参照ができ、友達の見解に対して「いいね」をつけたりコメントを返したり

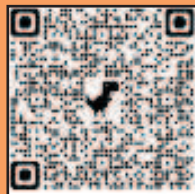
### 交流学習に対する児童の感想より

- ・楽しくてやる気が出る。
- ・友だちの意見を聞くと自分の考えが広がる。
- ・自分が思いつかなかった考えを聞いて、どきっとした。
- ・相手の考えを知って、「自分とは違う考えがあるのだな」と次に考えるときの参考になる。
- ・道徳以外の教科でも一緒に学習してみたい。
- ・教科の学習以外でもオンラインで交流したい。

今号外で紹介した4つの小学校は、オンラインで学校をつなぎ、多様な意見の交流や多角的な見方や考え方ができるような交流学習の場を設定されていました。小規模校であることを学校の強みととらえ、ICT機器や各種アプリケーションを学習の道具として使うことで、児童の主体的・対話的で深い学びの実現をめざした実践をされています。学校を越えて生き生きと学ぶ子どもたちの姿を見て、ICTを活用した協働的な遠隔学習の大きな可能性を感じました。

11月、12月  
授業研究会等

校内授業研究会等の  
情報はこちらから →



エキスパート教員の  
公開授業はこちらから →

